

歴代会長

故 佐野 忠平 昭和27年～平成 5年
 故 倉持 三郎 平成 6年～平成12年
 故 河野 市藏 平成13年～平成17年

新井 章介 平成18年～平成21年
 小澤 巖 平成22年～平成25年
 佐野 礼治 平成26年～

町会のあゆみ

「道玄町会」は昭和5年に結成されましたが、終戦とともに政令により解散させられました。

昭和27年に再結成され、佐野忠平氏が町会長に就任しました。

同年、町内有志によって浄財が集められ、敗戦によって疲弊した青少年に夢を与えるために小神輿を購入する事になりました。

娯楽の少ない時代背景もあって、当町会が宮元でもある本郷氷川神社のお祭りには大人から子供まで大勢の人が集まり、たいへんな賑わいを見せたと語り伝えられています。

「地域の人達が喜ぶ顔を見たい！」と言う伝統はその後も引き継がれ「お預かりした町会費は住民の方々喜んでもらうために還元する！」を合い言葉に毎年いろいろな行事を開催しています。

町会の活動

年間を通して様々な行事が目白押しですが、基本理念として「地域住民との親睦を最優先する！」を大前提としています。先ず一年の始まりには、新年会・餅つき大会と続き、暖かくなって潮干狩り・盆踊り・スイカ割り大会・氷川神社の御祭禮・日帰りバス旅行を楽しんだ後、一年の締めくくりとして歳末夜警では町会役員一同が地域内を巡回します。

あと、町会組織には各種の部会が有り、それぞれの役割を地道にこなしています。

先ずは、町会長・副会長・会計・監査・相談役と続き、総務部・防犯交通部・防災防火部・祭祀部・青年部・女性部・柏会（高齢者）・子どもと共に進む会・リサイクル部などがあります。

最近になって、高齢者の独り住まいなどが増加したため、「道玄町会・見守り隊」を結成してこまめに巡回・訪問をする活動に力を入れています。

町名の由来

「道玄町」は渋谷区の道玄坂と混同され、時として肩身の狭い思いをすることがあります。

しかしながら、渋谷区の道玄坂の言われは、江戸時代の「江戸名所絵図」によると「和田義盛一族が滅亡（鎌倉時代）した後、大和田道玄が残党を引き連れ、窟中に住みて山賊を業となす。故に道玄坂というなり」と明記されています。

一方で道玄町の由来は諸説あるようですが町会の中心部にある真言宗豊山派・福寿院の石碑には、

「伝説にこの地を堂換と称せしが時を経て道玄と呼ぶに至るとある。他にもこの地に「道玄」と言う修道僧が住んでいたので「道玄」と呼ぶようになった、と言う説も有り、山賊より胸を張っても良いだろう！と思います。



町会行事にも利用される災害時避難誘導旗